

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号

45

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴					有
事務事業名	防災対策の充実強化						
予算科目	9	款	1	項	4	目	
予算事業名	災害対策費						
総合計画での位置づけ	安全なまちをつくる						
担当課	総務課	担当課長	実淵 孝則				
事業担当者	重山 大輔		一次評価者	亀井 玲子			
事業の性格	自治事務						
法令根拠等	消防法、災害対策基本法、土砂災害防止法、福岡県水防計画						
事業の対象	久山町民						
事業の目的	<p>本事業は、災害対策基本法により市町村の責務が定められている。</p> <p>(1)地域に係る防災に関する計画を作成し、これを実施する責務。</p> <p>(2)防災に関する組織及び自主防災組織の充実、住民の自発的な防災活動の促進。</p> <p>(3)消防機関その他機関との相互協力。</p> <p>また、今日の災害は大規模化する傾向にあり、必要な体制を確立し、責任の所在を明確にするとともに、地域防災計画を定め総合的かつ計画的な防災行政の整備及び推進を図り、もって社会の秩序の維持と公共の福祉の確保に資することを目的とする。</p>						
実施期間	開始年度	平成 19 年度から					
	終了年度	平成 年度まで					
事業の内容	災害予防対策。訓練の実施(役場、消防機関、自主防災組織等)による相互の連携強化。災害対策啓蒙活動の実施。施設の整備等。マニュアルの作成。防災無線の整備。						
目的達成の指標	訓練参加者数。(平成29年度に見直し)						
	区分年度	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32年度	
	目標	人	500	500	500	500	
実績	人	388	253				
指標設定の考え方	町民が自ら災害に備えるための手段を講ずること、或いは防災訓練その他の自発的な活動への参加などが一番大切なことであるため指標設定と定めた。						
事業遂行時懸案事項等	地域防災計画の見直しにより必要な体制の確立及び役割分担を明確にし、それに沿った訓練等を実施しなければならない。						
事業実施時懸案事項対応等	平成29年度に地域防災計画の見直しを行ったが、同様に国や県も見直しを多々行っており、その対応を行っている。						

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 2,107 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算	32 年度予算
事務量	① 人工数	0.15	0.30	0.30
	② 人件費単価	7,381	7,350	7,196
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	1,107	2,205	2,158
事業費	直接事業費	8,447	16,679	355,985
	人件費	1,107	2,205	2,158
	合計	9,554	18,884	358,143
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	9,554	18,884	358,143
合計	9,554	18,884	358,143	2,158

事業費計画

(千円)

区分/年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度
目標	8,447	16,679	355,985	0	
実績	6,617	12,773			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
消防団団員数	人		168	168	
		156	156		
自主防災組織活動支援回数	回		8	8	
		8	8		
自主防災組織避難訓練マニュアル作成	区		8	8	
		8	8		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,898 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29 年度決算	30 年度予算	30 年度決算	
事務量	① 人工数	0.30	0.30	0.59
	② 人件費単価	7,129	7,350	7,187
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	2,138	2,205	4,240
事業費	直接事業費	6,617	13,379	12,773
	人件費	2,138	2,205	4,240
	合計	8,755	15,584	17,013
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	地方債		0	
	その他		0	
	一般財源	8,755	15,584	17,013
合計	8,755	15,584	17,013	

実施備忘録

--

自己評価	評価者	重山 大輔
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		A
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		A
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

毎年、全国各地で自然災害が発生しており、町民の全員が関心している事項であり、生命財産に直結する重要施策である。また、災害対策基本法など町の責務として実施していかなければならない。ハード面とソフト面両方を行っていく必要があり、時間と労力とコストがかなりかかり、毎年新たな課題や対策が生じている。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

数十年に1度と言われている自然災害が頻発しており、国や県も市町村の人員や体制の見直しについて言及している。専門的知識や負担軽減の観点からも消防職員や自衛隊OBなど危機管理の専門家を配置するように国も求めており、人員不足をしている声も多く、本町も昨今の災害に備え体制等整備する必要がある。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	亀井 玲子
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

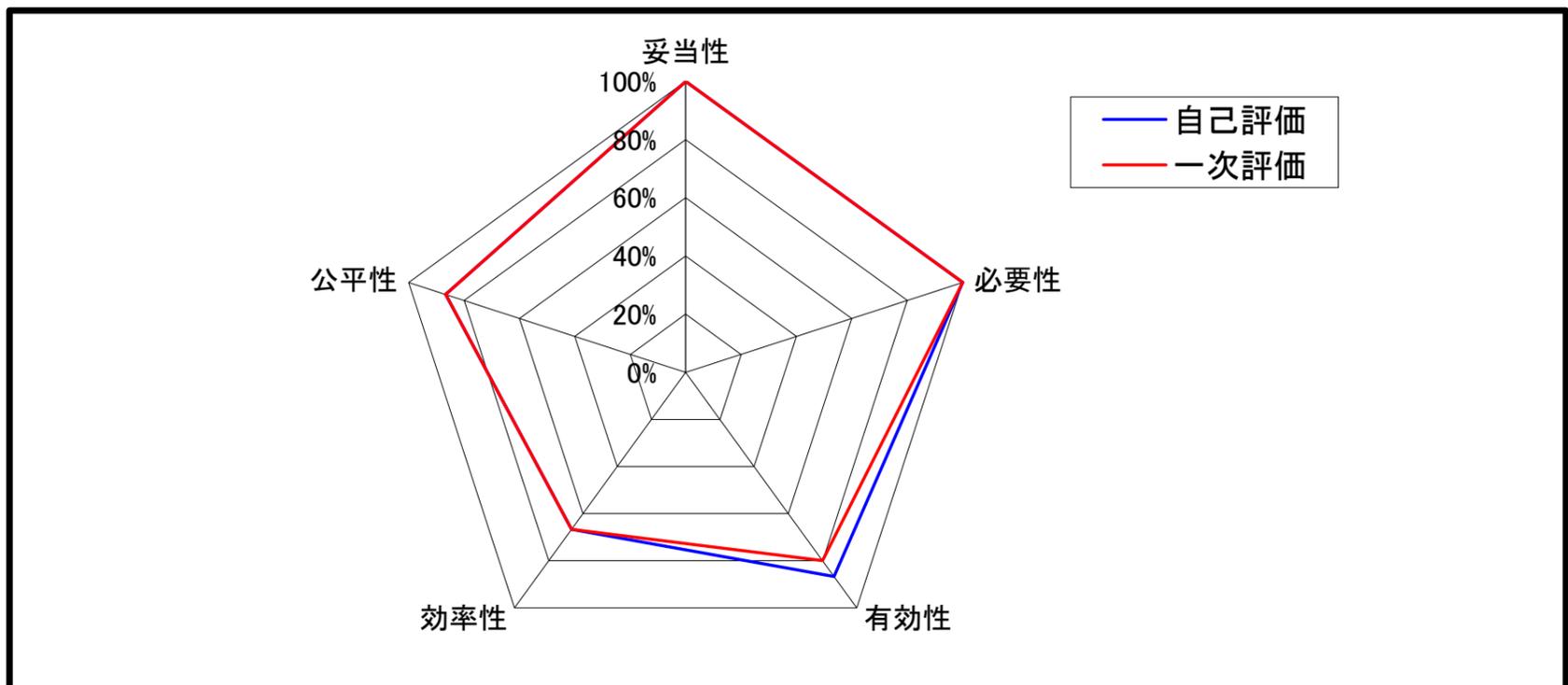
1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		A
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

町民にとっても重要な事業であり、昨年度策定した地域防災計画の改正に合わせて、具体的な行動計画を策定していくために、地域と連携して取り組まなければならない。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	実淵 孝則
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

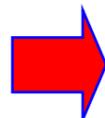
町民にとって重要な事業であり、今後、啓蒙活動の推進や訓練の実施により防災活動の促進を図る。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

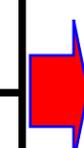
一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

外部評価

今後の方向性	
<input type="checkbox"/>	重点化
<input type="checkbox"/>	現状のまま維持
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し
<input type="checkbox"/>	廃止
<input type="checkbox"/>	事業完了



見直しの具体的内容	
<input checked="" type="checkbox"/>	実施方法の工夫
<input type="checkbox"/>	事業の効率化
<input type="checkbox"/>	受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/>	事業縮小
<input type="checkbox"/>	その他

評価	B
----	----------

外部評価委員の意見

久山町地域防災計画が策定されているが様々な防災対策があり、内容が大変広範囲にわたるため、それぞれの項目についてしっかりと推進できる体制づくりを行っていただきたい。併せて、平常時から防災に関する職員の研修や地域を含めた実践に即した訓練が不可欠であると考え。計画をはじめ防災に対する情報の共有は単に発信するだけでなく日頃の積み重ねが重要であり、災害時における行政や教育現場に求められる責任について、想定外の災害であっても責任が求められる判例も出ており、町も防災対策にしっかりと取り組むべきであり、本事業は大変重要なものである。

また、地域における防災は自助・共助が基本であり防災訓練も地域毎の特性を見て地域で行うべきとの町の考えに対して一定の理解はできるが、町が主導して各地区との連携や共働を想定した訓練を行うことも必要なのでは。また、地域毎の訓練を年1回ずつの実施では全体としては時間がかかりすぎると思われる。

経営者会議

経営者評価	町長
-------	----

今後の方向性	
<input type="checkbox"/>	重点化
<input type="checkbox"/>	現状のまま維持
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し
<input type="checkbox"/>	廃止
<input type="checkbox"/>	事業完了



見直しの具体的内容	
<input checked="" type="checkbox"/>	実施方法の工夫
<input type="checkbox"/>	事業の効率化
<input type="checkbox"/>	受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/>	事業縮小
<input type="checkbox"/>	その他

評価	B
----	----------

経営者会議の評価

地域防災計画の内容について、職員の理解を高める研修等を実施し、町内にお住いの方にも行政区を通して計画の概要等について周知する方法を検討する。

また、区長会等と協議を行い、地域と連携した防災訓練の実施時期や内容等について検討していく。

併せて、地域の防災意識をより高め、また防災訓練等を効果的なものにするため、役場内及び各地域に防災士を設置することを検討する。